



学校教育目標「自ら学び 明るく 生きぬく子」

# 月越小学校だより

令和5年6月2日発行 6月号

夢や希望をはぐくみ

月越っ子のよさや

可能性を伸ばす学校

〒350-0825

川越市月吉町 51 番地

電話 049-222-2261

## 1 学期の振り返り地点～梅雨の楽しみ方～

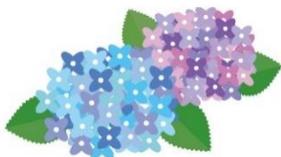
校長 遠藤 千絵

6月は梅雨入り。雨は天からの恵みの水といわれますが、校庭で遊べなかったり、蒸し暑かったり、洗濯物が乾かなかったりするので、雨ばかりが続くと困ります。それでも6月がわくわくする学びになるよう、お話朝会で児童に「梅雨の楽しみ方」の話をしました。

まず、1年生で習う「雨」という漢字から。雨の漢字の成り立ちは、天の雲から水がしたたり落ちる象形からできました。また、雨に関係する漢字には「あめかんむり」がついています。小学校6年間で習う漢字1026文字のうち、「あめかんむり」の漢字は、「雲」「雪」「電」の3つで、すべて2年生で習う漢字です。改めて各々の漢字の成り立ちを調べると、先人の思いと伝達に感動します。日本の季節の特徴の一つである雨の季節、漢字だけではなく、雨に関する言葉や物語は数多くあるので、雨の日には、室内で本を読んだり、調べたりしてみると新たな発見ができたりして面白いと思います。

次に、この時期に見かけるアジサイの花です。梅雨のじめじめとした嫌な時期でも、色とりどりのみずみずしく花咲くアジサイを見かけると、気持ちが明るくなります。ところが、アジサイとして私たちが見ているのは、本当は「花」ではなく「ガク」の部分です。直径3cmほどの小さな「ガク」の集まりが、ソフトボールほどの大きさのアジサイの花として見えています。本当の花は、4枚の「ガク」の真ん中に小さな「花」としてあります。じっくり見ると、「花」の部分を見つけることができます。また、アジサイは「七変化」とも呼ばれ、花を咲かせてからも次第に色が変化するものもあります。土の性質に関係していて、酸性が強いほど青い花になり、アルカリ性になるほどピンクの花になるそうです。この他、アジサイには、様々な色や形をしたものがあるので、見つけると雨の日も楽しく過ごせるでしょう。

最後に、6月10日は月越小の開校記念日、創立65周年目を迎えます。初めは中央小の分校であり第6小学校として始まり、翌年、月吉町の「月」と川越の「越」から月越小と名付けられました。「月越」という名前は地域の方からも愛されていて、幸せな学校です。この学校から多くの人が卒業し、夢をかなえています。誰でも小学生の時には、様々な夢を持っていました。月越っ子の皆さんにも、思い描く夢はいろいろあることでしょう。そこで、今月は65周年記念として、一人一人の夢をカードに書いてもらい、全校で掲示します。



6月に入り1学期の振り返り地点を通過しました。教職員一同、各教科の学習や学級生活の充実に努めてまいります。保護者の皆様、学校公開日に来校の折に、月越っ子の夢もご覧ください。

### ◇児童集会(委員長・クラブ長の紹介)

5月の児童集会では、各委員長と各クラブ長の紹介がありました。堂々と発表する6年生の姿に下級生が惹きつけられていました。月越小をよりよくする活動を行う「委員会活動(5,6年)」と自分たちの活動を楽しむ「クラブ活動(4年生以上)」、どちらも高学年のリーダーシップにより創意工夫ある活動になることでしょう。

### ◇親子除草のご協力ありがとうございました

6月1日、梅雨入り前の晴天の日に、親子除草を行いました。久しぶりの除草作業でしたが、地面にしっかりと根を張った草を全校児童で力いっぱい引き抜くことができました。作業の成果として、大きく膨らんだごみ袋がたくさん集まりました。保護者の皆様にも多数ご参加いただきありがとうございました。

